

撮影=適正露出と厳密色再現、デジタル操作は、+ デジタル基準使用で、モニタ調整もプリント調整も容易確実！

デジタル時代の色再現基準の決定版誕生！

< RW 標準グレイ・ガイド M-5 >

(特許出願済み)

お断り：色票（日本色彩研究所製作）はマット仕上げのために高濃度部は反射濃度 1.7 が限界とされ、また部分的な表面反射が避けられません。光を 45 度で入射させ、正面から見てテカリの少ない部分を選んで使用しておりますことをご了承下さい。

●色再現コントロール基準：デジタルデータ付き、主要 5 段階 +14 段階スケールの厳密マットグレイ反射基準。

■用途：

●適正露出判定と調整は、・スポット測光で適正露光測定可能、・写し込みで 5 段階調整容易確実。●モニタ調整、スキャナ取り込み・プリントアウトの明るさ、コントラスト、カラーバランス調整は、・原物と同じ<デジタル基準>でモニタ調整完璧、更に●コントラストとともにプリントアウトの色も付属カラーチャート (photoshop R + G 色補正 ± 20) でコントロール容易確実！

■内容：

●<RW標準グレイ・ガイド (GGM-5)> 1

・主要調整 5 段階部 (濃度 1, 4, 7, 10, 17 (0.1 ~ 1.7/h4.5cm) と 0.1 から 1.7 までの 14 段階部 * (1cm 角) の基準グレイスケール色票 (日本色彩研究所製) を黒塩ビ板に貼付。 (* マットにつき最高濃度は 11.7 止まり。) ブラケース入り外寸サイズ：170X92 ミリ。厚さ：10 ミリ。
・各濃度段階の反射率 Y%, L 値, RGB レベル値との関連値は裏面に表示。

●付属品：<RW GGM-5 CD-R> 1

① 原物スケールと等しい 5 段階及び 14 段階の Photoshop 用及び JPEG (Mac & Windows 兼用) 用の<デジタル基準>画像各 1。
②グレイ調整用チャート：L 5.2 (濃度 0.7 相当) を中心にカラーバランスを R と G ± 方向に 10 ごとに色変換した画像 . . . 1
③同 ホワイト調整チャート ((L 91 : 濃度約 0.1 相当, 同 RGB を 5 ごとに色変換画像, 1, 合計 4 画像を内蔵。
(注：上記数値は、Ver、環境設定等で若干の変動があります。)

■特長：ポケットサイズ。撮影時に写し込んでおけばフィルムスキャナで色の偏りのない正常な画像取り込みが容易・確実。

デジタル調整では、デジタル画像①、白調整チャート③をモニタに呼び出し、実物の<RWグレイガイド>と比較しながらモニタ調整ができ、①、②、③によりプリントアウトの Photoshop 画像のグレイバランス色調整 (R + G 色補正 ± 20 範囲) 値判定が容易確実。

デジタル画像 + Mac & Windows 兼用

CD-R

②グレイ調整チャート (Photoshop 用)

③ホワイト調整チャート (Photoshop 用)

①デジタルグレイ基準 (Jpeg & Photoshop 用各 1)

●価格：CD-R 付 12,800 円

< 使用法 >

使用上のご注意：色票面は非常に傷付きやすいので絶対に手を触れないよう、なるべくブラケースのまま使用し、使用しない時は、必ずカバーをして冷暗所に保存して下さい。なお、本体のみを取り出して使用するときは、右端の取り出し用テープを少し持ち上げ右側にスライドさせて引き出して下さい。その際も傷をつけないよう十分ご注意下さい。

■適正露出判定と色再現

中央部 (7) にて、TTL カメラのスポット測光、また単体反射光メーターのスポット測光で適正露出の判定ができ、写し込みにより確実な色再現が可能になります。(注 2：マット面とはいえ、プレート角度によって、また表面反射により若干の相違が生じます。) 反射率ほかは裏面参照。

1) 主要被写体位置で、表面反射が生じない (少ない) 角度での測光により、

a) グレイ面では . . . 測定値が適正露出近似。

より厳密には、各撮影条件ごとに、照明、プレート角度等に応じ経験値を得て修正して下さい。

2) もう一つの撮影法

a) 写し込み色再現法 -1

撮影時に、被写体に<RW標準グレイ・ガイド>をトリミング可能部分に写し込んで下さい。プリント及びスキャナ取り込みが確実になります。銀塩、デジタルともに、プリントでは<RWグレイサンプル>の 7 番と同じ色と濃度になるように調整すれば適正画像です。デジタルでは 5 段階調整が容易におこなえます。

b) 写し込み色再現法 -2

同じ照明条件で連続的に撮影する場合は、最初の一コマに中央部で得た適正露出で大写しでワンカット写し込んでから、被写体を連続撮影します。

c) スキャナ取り込みの方法：<RWグレイガイド>を記録したネガ (またはポジ) をフィルムスキャナでプレスキャンし、7 番部分 (濃度 0.7) の RGB がそれぞれ約 100 (98) になるよう調整します。次に<グレイネガ>を抜いて、希望のネガと差し替えプレスキャンなしに連続的に被写体ネガを本スキャンで取り込めば、カラーフェリアなし、デンシテイフェリアなしの正常な取り込みが容易確実、しかも取込み後の調整が不要なのできわめて能率的です。その場合中間グレイだけでなく、白・黒を含めた 5 段階、必要とあれば 14 段階の調整が可能になります。

d) カラープリント製作の方法：

銀塩、デジタルともに、プリントでは 7 番グレイ部が<RWグレイサンプル>の 7 番と同じ色と濃度になれば適正です。その場合のカラーバランス調整は銀塩では<RWカラープリントチェッカー・PC -2>により誰にでも失敗のない、容易・確実なカラープリント製作が可能になります。

■モニター調整 ・モニターのデスクトップは、無色であることが必要です。濃度 0.7 と同じ (L49-52、RGB100 近辺) のグレイをデスクトップ 写真 1 部にコピー・ペーストし設定して下さい。色付きでは画像色が異なって見え、正しい判定はできません。



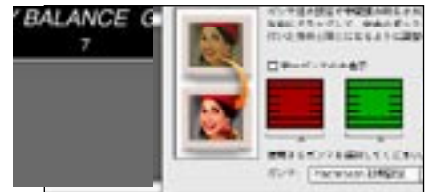
1) 準備 ・モニターはスイッチを入れてから少なくとも 1 時間経過後に調整して下さい。・モニターの横または前に、色温度の正しいナショナルまたは東芝製の色評価蛍光灯 (5000K) を設置して <RW グレイ・ガイド M-5 > を照明して下さい。注：色評価用照明でない場合の色的一致は保証できません。

- ・同梱 3.5 FD から、① <デジタルグレイ基準> をモニターに呼び出し中央のグレイが実物の <RW グレイ・ガイド M-5 > と同様な明るさになるよう照明とモニターを調整します。
- ・通常蛍光スタンドの場合、原稿照明の明るさは蛍光灯の高さで調節して下さい。
- ・ <RW 標準カラービューアー> 使用の場合は、ビューアーを写真 1 の状態にセットすればデジタルにおける RW 推奨の適当な原稿照明 (及びグレイガイドの基準照明) とモニター調整が可能になります。
- ・明るさはスポットメーター、カメラのスポット測光、色はカラーメーターでチェック* できます。(*モニターは CRT 以外の LCD の場合、カラーメーター調整が困難な場合が生じるようです。)
- ・またこれは非常に重要な問題として、照明が (物理的に) 等しくしても明るさ及び色の見かけは明暗対比と色対比現象によって視覚的に著しく違って見えます。したがってデジタルグレイ基準を白地バックで見るときはグレイガイドも白紙面上に、黒バックではモニター画像も黒バックにするなど、両者の置かれる環境を等しくしてチェックする必要があります。

2) グレイバランス調整

・Photoshop 5.0 以降の場合はアドビガンマを呼び出しガンマを 1.8 にし、RGB 3 つのライダー調整 (図 2) で①または②のデジタルグレイが現物のグレイプレートと明るさと色ができるだけ近似するよう調整します。Photoshop 4.0 までは、ガンマ (図 3) を呼び出し Balance ボタンを押して同様に調整して下さい。

図 2



3) ホワイト (白) 調整

<RW グレイガイド M-5 > の左側の白 : 1 番 (反射濃度 0.1) の部分 (または <③ ホワイト調整チャート L 91 > と、デジタル 画像の同じ部分の色と明るさが近似するように Photoshop の <ガンマ> ではハイライト <WHITE PT > にボタンを切り替えて調整して下さい。(図 4) ・(注 4) ハイライト調整は、Photoshop <ガンマ> 以外では調整できない場合があります。・常時、 <グレイガイド> と <デジタル基準> を比較して明るさと色をチェックして下さい。

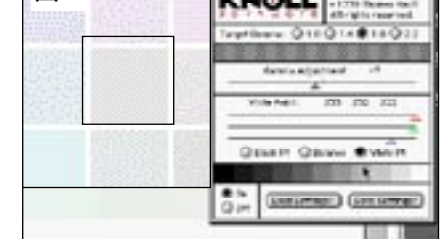
図 3



■プリントアウト調整

1) ①の J P G <デジタルグレイ基準> の場合は、プリントアウトしたとき、①画像がグレイガイドと同じ段階になるよう、明るさ、コントラスト、カラーバランスをプリンタードライバーで調整して下さい。2) Photoshop の色調整では②の <グレイ調整チャート> を無調整でプリントアウトしてチャート中央のグレイが正しいグレイを示す位置のズレから R と G の色補正值を見いだすことができます。たとえば、図 5 の A の場合は + 20 R、+ 20 G、B 位置の場合はともに - 20 R、- 20 G で Photoshop 画像のカラーバランスを (色補正 ~ カラーバランスで) 調整してプリントアウトすれば正しいグレイバランスが得られます。

図 4

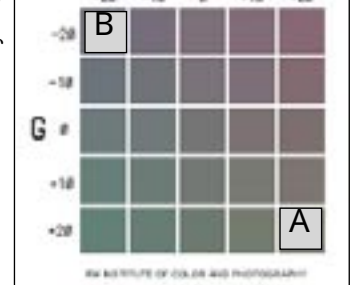


また、ハイライト部に関しては <③ ホワイト調整チャート L 91 > を刷りだして同様に調整することができます。

なお、明るさ・コントラストを含めてより厳密におこなうには各濃度段階で厳密に調整できる別売 <RW プロスキャン - 7 > B セット (19, 800 円) を使用して調整して下さい。

(注：左表数値は、Photoshop Ver.4 による。Ver.5 以降は若干の変動あり。)

図 5



<・濃度・Y%・L 値・RGB レベル値との関連値>*					
表示	濃度	Y%	L 値	表示 L 値	RGB 値
1	0.1	79.44	91.41	91	2 2 1
2	0.2	63.09	83.49	83	1 9 2
3	0.3	50.12	76.13	76	1 6 9
4	0.4	39.81	69.33	69	1 4 6
5	0.5	31.62	63.01	63	1 2 9
6	0.6	25.12	57.17	57	1 1 1
7	0.7	19.95	51.84	52	9 8
8	0.8	15.85	46.84	47	8 6
09	0.9	12.59	42.15	42	7 4
10	1.0	10.00	37.84	38	6 5
12	1.2	6.31	30.16	30	4 9
14	1.4	3.98	23.67	24	3 8
16	1.6	2.5	17.92	18	2 8
17	1.7	2	15.49	15	2 4
(2 0	2.0	1.0	8.99	9	1 6)

(☆RWソフトのあらゆる複製・使用等を禁じます。個人による一台のモニター使用を前提としております。企業、官庁、教育機関、団体等における複数のモニター使用に対しては許諾を得て下さい。)


脇色彩写真研究所
 〒 185-0013 東京都国分寺市西恋ヶ窪 1-12-2 TEL / FAX 042-323-5710
<http://www.mmjp.or.jp/rwicp>